

学校番号 15 長野西高等学校通信制課程 令和5年度 学校評価表

学校教育目標			中・長期目標					
1 社会についての深い理解と健全な判断力とを養い、よりよい社会を創造するための資質を育てる。 2 自主自立の精神を培うと共に、他人を敬愛し、社会の一員としての責任を自覚する。 3 青年期の特質を理解して、常に健全な身体をつくることを心がけ、豊かな情操と聡明な知性とを陶冶する。 4 広い教養と体験を通して自己の適性を発見させ、更にこれを伸展して社会に奉仕するための職業的資質を養う。			1 学習指導の充実を図り、生徒の単位修得や卒業後の自立に向けた支援を行なう。 2 生徒一人一人を大切に生徒との信頼関係を構築すると共に、生徒相互の豊かな人間関係を深めるための支援を行なう。					
			本年度の重点目標					
			① 生徒の実態に合わせた学習指導の改善や工夫をすすめ、生徒の単位修得や卒業後の社会的な自立に向けた支援を行う。 ② 学習に困難を抱えている生徒一人一人に対して特別な援助を行う。 ③ 信友会活動などを通して、生徒同士が関わり合い、豊かな人間関係を結ぶ機会をつくりだし、社会に歩みだす自信と他者への信頼感を育む。 ④ 人権・生命を尊重し、いじめや体罰のない安心安全な学校づくり。					
			A：良くできている B：まあまあできている C：あまりできていない D：できていない					
対象	評価項目		評価の観点				感想や提言、要望など	
学習指導	①	添削指導の充実	生徒の学力状況に合った適切なレポートの作成ができたか。また、一人一人の生徒の学習の励みになる添削指導ができたか。				再提出レポートへ励ましのコメント、解説プリント添付など、前向きな取り組み、やる気につながる指導を心がけた。	
	①	面接授業の充実	公開授業の交流等を通して、生徒の学習意欲を喚起し、レポート作成に役立つ面接授業ができたか。				・例年通り公開授業期間を計画し、実施した。 ・ICT機器、視聴覚機器などを利用して効率よい授業展開に心がけた。	
	②	特別な学習援助	学習に困難を抱えている生徒に対して、きめ細かな支援ができたか。				質問に来た生徒には丁寧な対応ができた。また、個人面接などの指導を通して支援していると思う。但し、自分から質問も出来ず、集団の中にも入ることが出来ず、レポートも進めず面接授業にも出られないという生徒もいる。	
生活指導	全	学校生活や社会のマナーやルールの遵守	問題行動に対し、全職員で情報共有をし、協力して指導にあたることができたか。				必要に応じて学年会を開き、情報・指導の共有に努めた。指導対象の生徒が週1回しか登校しないので指導の難しさを感じる。	
	④	基本的人権・生命を尊重する考え方の育成	いじめ、体罰を許さない安心・安全な環境づくりや人権教育を通して生徒に人権の大切さの理解を深めさせたか。				年に一度人権平和教育を実施している。コロナも落ち着き、今年は体育館で全員集まり、話を聞くことができた。いじめアンケートは人権学習の際実施している。人権の大切さの理解を深めさせることができた。	
			自殺予防教育等を通して、生命の大切さの理解を深めさせたか。				「通信情報」で生命の大切さは通知しているが、読んでいるかどうかは分からない。理解を深めさせることはできていない。	
進路指導	①	生徒個々の進路目標実現に向けての支援と助言	生徒への情報伝達、職員間の情報伝達・情報共有など密に行うことができたか、生徒一人一人に対応した指導はできたか。				進路だよりを毎月発行し、生徒・保護者に情報提供を行っている。今後も紙面を工夫して進路指導に活用していきたい。	
			ハローワーク長野・ハローワーク上田・ジョブカフェ信州・コミュニケーションアイなど外部組織と連携した通信制型の進路指導の推進ができたか。				ハローワーク長野などと連携し、生徒の進路指導を行っている。個々の生徒と丁寧に面談をして、希望に添った進路指導を進めていきたい。	
信友会活動	③	信友会本部委員会の力量の向上	信友会活動の意義を理解させ、役員生徒の力量を向上させるとともに、生徒が主体的に活動できるように支援できたか。				弦月祭などの行事にて、ほとんどの本部役員生徒は真面目に自分の役割を果たしていた。	
		仲間づくりや自主的な活動への支援	多くの生徒が参加できる信友会行事や委員会活動・クラブ活動などを計画し、それらを通して生徒間の人間関係づくりや自主的な活動を支援できたか。				コロナ禍で限られた活動とはなったが、委員会など少しずつ以前の活動に近づけることができ、生徒会活動に関心・興味を持つ生徒も少しずつ出てきたと感じる。クラブ活動は本年も一年間休止となったが、来年度は感染症を注視しながら、活動できるように準備を進めたい。	
通信情報	全	紙面作成の技術向上と質の充実	必要な情報をわかりやすく編集し、発行後内容を検討して今後に生かすことができたか。				毎月発行されている通信情報は学校と生徒、保護者との大切なつながりの役目を果たしている。今後とも内容の精選、見やすい形式を心掛けていきたい。	
特生別使支相援談	②	個のニーズに応じた適切な学習支援	レポート作成に困難さを抱える生徒やテストの不合格者に対し、的確な判断のうえに適切な個別指導がなされたか。				コンピューター係より、テスト不合格生徒のリスト提示があり指導がしやすかった。	
学校運営	全	職員間の協力・共同の推進	係会や委員会、教科会・学年会などを通して職員間の意思疎通が深められているか。				職員一丸となって対策できた。何か問題等あればすぐ集まり、話し合いが行われるような体制はとれている。	
		的確な情報発信	ホームページや学校説明会などを通して、通信制高校の学習形態や本校の様子について理解してもらえるよう努めたか。				よくできていると思う。今後さらに細かい対応をしていきたい。	